

## 各種シート防水の下地調整

- ・ レジアンダー塗布後当日プライマーが塗布でき、連続してシート防水まで施工できます。
- ・ レジアンダーは耐溶剤性に優れているので、短時間の養生でもプライマー・接着剤の溶剤によるリフティングを起こしません
- ・ 養生時間 表面全体が乾燥してから約1時間後

下地の種類	施工の目的	調 合	塗布方法	塗布量目安(kg/m <sup>2</sup> )	備 考
コンクリート モルタル	ピンホールの修復 ひび割れの修復	通常配合	コテ	平滑面 0.6~0.8/回 粗面は状態による	ピンホールの修復は2回塗りが必要です。
ゴムシート防 水層撤去後	ゴムシート用接着 剤との仲介接着	通常配合(刷毛・ローラーの場 合は粉体減量または水添加)	コテ・刷毛 ・ローラー	平滑面 0.6~0.8/回 粗面は状態による	クロロプレングム系接着剤に対し優れた付着性を有しま す。
塩ビシート防 水層撤去後	塩ビシート用接着 剤との仲介接着	通常配合(刷毛・ローラーの場 合は粉体減量または水添加)	コテ・刷毛 ・ローラー	平滑面 0.6~0.8 粗面は状態による	NBR系・エポキシ系接着剤に対し優れた付着性を有しま す。
磁気質タイル ガラス 鉄 ステンレス	鉄との仲介接着	下地調整含む 通常配合(刷毛・ ローラーの場合は粉体減量また は水添加) プライマーとして 混和液：粉体 = 1 : 1	コテ・刷毛 ・ローラー	通常配合 0.6~0.8 1 : 1 配合 約0.2	左記下地に対し目荒らしを行わなくても優れた付着性を 有します。付着を妨げる汚れ等は充分除去して下さい。
アルミ	アルミとの仲介接 着	混和液：粉体 = 1 : 1	刷毛・ロー ラー	約0.2	アルミに対し接着良好です。酸化皮膜の無いアルミとセメ ントが直接接触すると、反応により水素ガスが発生します。 ほとんどのアルミは酸化皮膜に覆われていますが、念のた め試験塗りを行って下さい。